

小学校・算数



【 数と計算 】

<定着が見られる内容>

- 整数の乗法計算、商を分数で表す力は概ね定着している。
- 小数の乗法計算で、乗数を整数に置き換えて考えるときの「乗法の性質」は理解できている。
- 二つの数の最小公倍数を導き出す力は身についている。

<課題が見られる内容>

- ◆小数と整数の加法の計算、加法と乗法の混合した整数と小数の計算に課題がある。
- ◆1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、関係を数直線に表す力が不十分である。

指導改善のポイント

- ☆小数の混じった計算の場合には「位（くらい）」を十分に意識させ、途中の計算はできるだけ暗算とする習慣をつけさせる。
- ☆二段階・三段階の思考を必要とする計算の指導に時間をかけ、正答する喜びを味わわせる授業の工夫を行う。
- ☆四則計算、位取りの誤りについては、繰り返し練習を行い定着を図る。

【 量と測定 】

<定着が見られる内容>

- 重さや長さについて、必要な単位を選んで測定したり比較したりする力が身についている。
- 平均を求める際の立式、計算方法について理解できている。

<課題が見られる内容>

- ◆高さが等しい平行四辺形と三角形において、底辺と面積の関係についての理解が不十分である。
- ◆平均を求める際に、飛び離れた数値を除外したり仮の平均として示した数値を基に考えたりすることに課題がある。

指導改善のポイント

- ☆面積を求めるときに、具体的な数値が示されていなくても論理的に考えて正答を導き出す力を身につけさせる。そのために、公式を学ぶときには、その意味が十分に理解できるように指導する。
- ☆量的な学習においては、具体物を活用した算数的活動を多く取り入れた授業づくりをする。

【 図形 】

<定着が見られる内容>

- 立体の面と面の位置関係について理解できている。
- 正多角形の性質については概ね理解できている。

<課題が見られる内容>

- ◆示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断することに課題がある。

指導改善のポイント

- ☆様々な平面図形、立体図形の模型に触れる機会を増やし、感覚的に図形について理解する活動を多く取り入れる。
- ☆児童の、実際に図形をかいたり組み立てたりする活動やそれぞれの図形の性質について自分の言葉で説明する活動を大切にする。

【 数量関係 】

<定着が見られる内容>

- 未知の数値を表す口を用いて、問題場面を表す関係式を立てる力が概ね身についている。
- 具体的な問題場面において、二つの数量の関係について乗法で表すことができる。
- 資料を二次元表に分類整理する力は概ね身についている。

<課題が見られる内容>

- ◆与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることに課題がある。
- ◆目的に適したグラフを選んだり考察したりすることに課題がある。
- ◆示された式の中で、数の意味と表を関連づけながら正しく考察し、それを記述し説明する力が不十分である。

指導改善のポイント

- ☆数量の関係を理解するための手立てとして、言葉や図、線分図、関係図などを活用する等、指導方法の工夫改善を行う。
- ☆長文の問題文でもじっくりと読みこなし、題意を捉えて問題解決へ向けて粘り強く考え抜く力を伸ばす。

今後に向けて

- ⇒日々の授業の中で、自分の考えを解説したり記述したりする活動を多く取り入れ、課題解決に向けて道筋を立てて説明する力を育てる。
- ⇒実際の生活場面と関連した問題を工夫することで、児童が興味関心を高め、学習に主体的に取り組むようにさせる。
- ⇒教科書の中にある「発展問題」に取り組ませ、活用する力を伸ばす。

児童が苦手とした問題

＜活用に関する問題 数量関係＞

4

学校で、4年生以上の学年について、ハンカチとティッシュペーパーを持ってきているかどうかについて調べました。

ゆうじさんは、調べた結果を次のようにまとめました。

学年	ハンカチを持ってきた	ティッシュペーパーを持ってきた	両方持ってこなかった	学年の人数
4年	40	47	2	52
5年	62	61	1	70
6年	52	57	1	60

さくら

ゆうじさんが作った表には、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた人数が書いてありません。

さくらさんは、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた人数を求めるために、表をまとめ直すことにしました。

下の表は、5年生の結果をまとめ直したものです。

		ティッシュペーパー		合計
		持ってきた	持ってこなかった	
ハンカチ	持ってきた	ア	イ	62
	持ってこなかった	ウ	1	エ
合計		61	オ	70

さくらさんは、表をもとに次の式をつくり、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた5年生の人数を54人と求めました。

【さくらさんの式】

$$70 - 61 = 9$$

$$9 - 1 = \underline{8}$$

$$62 - 8 = 54$$

【さくらさんの式】の中の、「9」は、ティッシュペーパーを持ってこなかった人数の合計を表しています。この「9」は表のオにあてはまります。

(1) 【さくらさんの式】の中の、「8」はどのような人数を表していますか。言葉を使って書きましょう。

また、この「8」は、表のどこにあてはまりますか。アからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ゆうじさんたちは、調べた結果をグラフに表して発表しようと考えています。

ゆうじ

ハンカチとティッシュペーパーの両方を、いちばんよく持ってきている学年がわかるようなグラフを作りたいです。

さくら

学年の人数がちがうので、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合がわかりやすいグラフを作ればよいと思います。

(2) それぞれの学年の、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合を表すのに、最も適したグラフは、右の1から4までの中のどれですか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

